

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 28日

事業所名 すこやか教室

|                                  |  | チェック項目   | はい | いいえ                                 | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標                           |
|----------------------------------|--|--|----|-------------------------------------|--|--|
| 環境・<br>体制<br>整備                  | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である  | 5  |                                     | ①集団活動に適している共用スペースと個別学習に使う個室を用途に合わせて使っている<br>②基本、固定曜日利用の為利用定員内である<br>③現在在籍人数が少ないので適切である   |  |
|                                  | 2  | 職員の配置数は適切である   | 5  |                                     | ①人数は良いが市の職員の方がいて下さると助かる<br>(定期的に来て頂きたい)  |  |
|                                  | 3  | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている   | 5  |                                     | ①文字やイラスト、写真等を用いて構造化している<br>②活動するスペース（遊び、勉強、運動）を明確にしている 入室できない場所は×印で示す<br>③設備は整っており床も程よくクッション性がある   |  |
|                                  | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている  | 5  |                                     | ①トイレの手洗いの場所が気になる<br>②多くの時間を過ごしている教室内は快適であるがトイレなどの手洗い場で混雑する<br>③日々の掃除に加え物品の破損の有無を随時確認する<br>④定期的に消毒、換気等を行い活動に合わせ机や椅子等の配置を考え活動しやすいスペースを確保出来るようにしている | ①トイレ誘導は時間差で声かけし混雑を少なくしている②毎月ファイリング日を設け設備チェックをしている      |
| 業務<br>改善                         | 5  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している  | 5  |                                     | ①ほぼ毎日振り返りでスタッフで情報共有の話し合いができています  |  |
|                                  | 6  | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている  | 5  |                                     | ①保護者様の意向把握のために職員全員で意見を共有する時間を設ける   | ①改善する点は改善しこちらの主旨がきちんと伝わっていない場合は保護者様と十分に話し合いを持つように努めている |
|                                  | 7  | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している                                   | 5  |                                     | ①保護者様の意向を共通理解するためにホームページを確認し改善する<br>②保護者様にプリントで渡す  | ①職員間で会議をし質の向上に努め対応できるところは改善。市のホームページに今後更新し公開する予定       |
|                                  | 8  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている   | 2  | 3                                   | ①現在検討中   |  |
|                                  | 9  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している  | 5  |                                     | ①県の出前講座や療育支援センターの研修を順番に受けている   |  |
| 適切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供 | 10   | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している   | 5  |                                     | ①保護者様からの聞き取りをし支援計画も6ヶ月後には見直しをしている<br>②しっかり保護者様の話を聞き子どもに合ったニーズの提供を計画に取り入れている  |  |
|                                  | 11   | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している   | 5  |                                     |  |  |
|                                  | 12   | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 5  |                                     | ①職員全員が参加する会議で意見交換をすることでガイドラインに沿った計画になっているか確認する   |  |
|                                  | 13   | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている  | 5  |                                     |  |  |
|                                  | 14   | 活動プログラムの立案をチームで行っている   | 5  |                                     | ①支援会議で担当者が立てた案を皆で検討している  |  |
|                                  | 15   | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している   | 5  |                                     | ①新しい教材を取り入れ内容に変化を持たせるようにしている   |  |
| 16                               | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 5  |    | ①年齢、状況に応じて作成している<br>②職員間でプログラム作成を回す |  |  |

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 28日

事業所名 すこやか教室

|              | チェック項目   | はい   | いいえ  | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標                        |
|--------------|--|--|--|--|---|
|              | 17   | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している                                   | 5  | ①朝、ミーティングの時間を設けている<br>②毎日の朝礼で確認している<br>③朝礼の時間内に必ず行う            |   |
|              | 18   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している                              | 5  | ①良かった所、気になる点を出し合い改善点を考える<br>②随時気になった事を取り上げスタッフ間で共通理解できるようにしている |   |
|              | 19   | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている   | 5  | ①各担当の個別支援計画書類等に記録を残している<br>②療育日誌にも記録として残している                   |   |
|              | 20   | 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している   | 5  | ①支援会議で計画の見直しを行いスタッフ間で検討し判断するようにしている                            |   |
| 関係機関や保護者との連携 | 21   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                                | 5  | ①児童発達支援管理責任者が出席している  |   |
|              | 22   | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている  | 5  | ①母子保健は3歳児精密検査の連携が取れている 子育て支援センターも当教室に隣接しているので同様である             | ①関係機関も共有できる一覧表があれば経過も追いやいやすいと思う                 |
|              | 23   | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | 5  | ①母子通園のためご家族様より情報を伝えてもらい支援している                                  |   |
|              | 24   | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている             | 5  | ①母子通園なので保護者様を通じて聞く（直接的にはない）<br>②母子同伴のため、まずは保護者様に連絡してもらう        |   |
|              | 25   | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                    | 5  | ①入園される時は園に向いて行き子どもさんの状況を伝える様にしている                              |   |
|              | 26   | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている                                | 5  | ①責任者が参加して当教室の支援の経過を話し小学校という新しい環境にスムーズに移行できるようにしている             | ①早めに「就学のでびき」を配布し就学に向けての準備に備えてもらう<br>②サポートブックの紹介 |
|              | 27   | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                         | 5  |  |   |
|              | 28   | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある   | 5  | ①コロナでできない<br>②以前は地域の支援学級の子と連との交流を行っていたが現在は学校の都合もあり中止となっている     |   |
|              | 29   | (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している   | 5  | ①責任者が参加している  |   |
|              | 30   | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                                   | 5  | ①週1回の利用者様が多いので1週間の体調や園の様子、気になった点などを聞くようにしている                   |   |
| 31           | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている | 5  | ①家でできる事を促し必要であれば支援カードの準備など話し提供したり保護者様で準備してもらうようにしている<br>②県の研修（ペアレント・トレーニングの案内）を掲示板に貼り周知して勤めている |  |   |

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 28日

事業所名 すこやか教室

|            | チェック項目 | はい   | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標  |   |
|------------|--------|--|-----|---------|---|---|
| 保護者への説明責任等 | 32     | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている   | 5   |         | ①契約時に一通り説明を行い負担金に関しては福祉の窓口で説明を受けてもらう  |   |
|            | 33     | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 5   |         | ①計画について説明をし理解してもらえるようにしている  |   |
|            | 34     | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている  | 5   |         | ①定期的ではないが来室されるときには声かけて話を聞くようにしている<br>②相談内容を共有することで多面的な意見を提供できるように心がけている   |   |
|            | 35     | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している   | 5   |         | ①コロナになり行事（全員参加）の実施が難しくなったが曜日ごとにリフレッシュ（茶話会）の時間を取るようにした（年2回）<br>②母子分離で保護者様のリフレッシュタイムを作り情報交換や悩みを話す時間を取っている<br>③座談会などを企画し母子分離で保護者同士の意見交換がスムーズにできるようにしている<br>④父親や祖母の参加も好評である |   |
|            | 36     | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している                           | 5   |         | ①その日で適切なやり方が伝えられる時には伝え職員で話し合う時間が必要な時は次回まで待つてもらおうようにしている<br>②相談や申入れがあった場合は職員間で話し合いすくに対応出来るようにする<br>③日頃より困っている事や児童様の相談事には適宜応じている  |   |
|            | 37     | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している   | 5   |         | ①月1回お便りを発行している<br>②会報の発行はしていないが毎月のお便りや掲示板にて対応している   |   |
|            | 38     | 個人情報の取扱いに十分注意している  | 5   |         | ①鍵のかかるキャビネットに保管している<br>②秘密情報の保持に関する契約書を職員に書いてもらい日頃より守秘義務に関する注意を促している  |   |
|            | 39     | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている   | 5   |         | ①スケジュールに沿った視覚支援や指さしや目の動きなどで判断するなど選択の方法を工夫している   |   |
|            | 40     | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   |     | 5       | ①地域住民参加の行事は行っていない   |   |
| 非常時等の対応    | 41     | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している                                  | 5   |         | ①火事を想定した訓練は定期的に行っている<br>②親子一緒に非常階段の確認をしながら実施している<br>③避難経路に沿って親子で階段を下りたり標識、AED等の確認を行う  |   |
|            | 42     | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | 5   |         | ①訓練や防災週間に合わせ備品の点検を実施するようにしている   | ①防災頭巾を実際に親子で体験してもらい訓練する   |
|            | 43     | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している  | 5   |         | ①保護者様から聞き取りの時に聞くようにしている<br>②フエイスシートに記入欄がある  |   |
|            | 44     | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | 5   |         | ①保護者様を通じてしている<br>②聞き取り時に有無を確認し事前に再度聞き取りしている   |   |
|            | 45     | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | 5   |         | ①全員がいる場所で共有しその日のうちに整理するようにしている  |   |
|            | 46     | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 5   |         | ①虐待防止委員会を立ち上げ保護者様の代表、福祉課より参加頂き会議を開催している<br>②県の出前講座を年に1回受講している   | ①利用者様への言葉遣いや身体的な関わり丁寧に行い日頃から職員間でも高い意識をもって接する様に意思統一している<br>②県による障害者虐待防止法出前講座を保護者様の代表者に参加頂き実施する 質疑応答を含め1時間講義を受け勉強する |
|            | 47     | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している                           | 5   |         | ①保護者様の了解のもと状況を見ながら対応を考えている<br>②集団活動中など玄関を施設する時は全員に声かけを行っている<br>③個人記録の記載に加えて対応した時に必要に応じて詳しい説明をするように心がけている  | ①現在入口のドアは換気重視で飛び出し対策を取りつつ施設もやっている状況   |